

<R02-No28 : 応用測量 (河川) : 問題>

次の文は、公共測量における河川測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 距離標設置測量とは、河心線の接線に対して直角方向の両岸の堤防法肩又は法面などに距離標を設置する作業である。
2. 定期横断測量において、陸部の地盤高の測定をネットワーク型RTK法によって行う場合は、観測回数は1セット行うものとする。
3. 定期縦断測量は、原則として、観測の基準とする点は水準基標とし、観測の路線は、水準基標から出発し、他の水準基標に結合するものとする。
4. 定期縦断測量は、平地においては3級水準測量、山地においては原則として4級水準測量により行うものとする。
5. 海浜測量とは、海岸線に沿って陸部に基準線を設けて、適切な間隔に測点を設置し、測点ごとに基準線に対し直角の方向に横断測量を実施し、前浜と後浜を含む範囲の横断面図データファイルを作成する作業である。